



(学校便りのこの欄は、生徒の皆さんに読んで欲しい内容が中心です)

「意志あるところに力が宿る」

校長 水野 秀哲

本年度予定されていた旅行宿泊的行事、全学年で無事に終わることができました。

どの学年も、「物見遊山」にならないよう、行事のねらいを明確にして取り組んでいたと思います。特に「時間を管理する」ということについては意識できたのではないかと思います。身に付けた力をこの後の学校生活に生かしてください。

私は常々「意志あるところに力が宿る」と考えています。

意志とは、「何かを決めて取り組もうとする心」のこと。今回の行事でも、「時間を守る」という意志をもつだけで、時間を意識して自分の行動をコントロールできたことを経験していると思います。やろうとする気持ちも、やらないとする気持ちも意志です。ただ、日常の生活で意識して明確な意志をもって行うことというのは、けっこう少ないように思います。

多くの場合、意志を伴った行動の積み重ねが「力」として蓄えられていきます。逆に意志をもたない、周りに流される、なんとなく行動する、しかたなくやる…といったことから、効率よく「力」はついていきません。これは勉強でも、部活動でも、何の世界でも共通していると思います。

悪事ですら、意志をもって行うことで、その「力」がついてしまいます。

今、皆さんは中学校の3年間を通して、様々な「力」をつけています。「学力」もそのひとつですが、それが中学校でつける「力」の全てではありません。「人間力」をつけていかなければならないと思うのです。今までも、これからも求められている「力」です。

「人間力」とは、「学問を活用する力」・「人との関わりにおいて社会に役立とうとする力」・「自分を律する力」を総合した力といわれていますが、私は、最も基本的に人として認められる力、「人徳」だと思っています。例えば「挨拶ができる」「時間を守ることができる」「場を整える」「礼儀をわきまえる」…などです。「思いやりをもつ」とか「陰口をいわない」「他を非難するより工夫する」などもそうでしょうか。

例えば、挨拶。生徒会も一生懸命に取り組んでいます。この学校便りにも過去何度か書いてきましたし、タイトル下にも「元気なあいさつ笑顔が一番」と書かれていますね。が、どうでしょう。意志をもって挨拶しているのでしょうか？

言われたから挨拶する。やらされている挨拶は意味がないと思いませんか？

登校時の玄関で「挨拶はしない」という意志をもって、無視して通り過ぎているあなた、そんな「力」をつけてどうするのですか？

私たちには「できない」こともたくさんあるのですが、その多くは「やらない」=「やる意志がない」ことに起因しています。「できない」のではなく、「やらない」のです。

「人間力」をつけるための意志をもって、「人間力」を磨いてください(もちろん「学力」もね)。

修学旅行・宿泊研修

5月30・31日に2年生が宿泊研修に、6月6～9日に3年生が修学旅行に行ってきました。どちらもコロナ禍の中、予定通り無事に終わることができました。ご家庭における感染防止対策等、ご協力ありがとうございました。

